

2009年12月7日

「社長が選ぶ 今年の社長」

柳井 正 氏 (2年連続
2位以下に大差)

来年注目する会社は…

トヨタ自動車

学校法人産業能率大学（本部：東京都世田谷区／理事長：上野俊一）は、従業員数が10人以上の企業経営者（経営トップ）を対象に、2009年に最も優れていたと思う社長が誰かを聞き、「社長が選ぶ 今年の社長」としてまとめました。あわせて、今年を象徴すると思う「ビジネスキーワード」や、来年（2010年）の活動に注目している会社を聞いております。調査は、11月20日から12月1日まで、インターネット調査会社を通じて実施し、697人から回答を得ました。

「社長が選ぶ 今年の社長」の1位は、昨年に続いてファーストリテイリングの柳井 正氏。2位のトヨタ自動車・豊田章男氏に200票以上の差をつける圧勝でした。不況下においても業績を伸ばしている実績を評価する声が多く、ユニクロブランドの確立や積極的な海外展開を理由に挙げる経営者も目立ちます。

また、来年注目する会社を聞いたところ、トヨタ自動車が1位でした。今後の日本経済を占う意味でも、やはり注目が集まるようです。

なお、「社長が選ぶ 今年のビジネスキーワード」は、政権交代が1位。今後の経済成長に大きく影響する、あるいは経済のみならず社会全体のシステムが根底から変わる、といった理由が多く挙げられています。

— この資料に関するお問い合わせ先 —

(学) 産業能率大学 企画広報部企画広報課 担当：秋山（あきやま）

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

電話：03-3704-9040、ファクス：03-3704-9404

社長が選ぶ 今年の社長

2009年の最優秀経営者だと思える方を自由回答方式（自薦含む）で聞きました。回答では会長職なども含まれていましたが、有効回答として認めています。総勢90人の「今年の社長」（会長等含む）の名前が挙がりました。調査結果を総括すると、不況下ゆえに「業績」に対する感度が高いものの、グローバル化や中長期での研究開発投資について評価する声が多いように感じられます。

ファーストリテイリング・柳井氏の2連覇という結果でしたが、柳井氏の獲得票の割合は昨年の約16%から約37%に増加しています。「今年の社長」でも柳井氏が独り勝ちの様相です。

トップ10と上位の主な理由

※商号は省略 ※会長職も有効回答

順位 (前年)	氏名	企業名	票数	回答割合 % (前年)
1位(1位)	柳井 正 氏	ファーストリテイリング ※	256票	36.7(16.3)
	「グローバル展開を実現し、先を読み常に顧客志向で経営をしている」(保険業・51歳・静岡) 「先進性とグローバル戦略に秀でた類稀な経営者」(サービス業・56歳・北海道) 「目標を高く設定し、世界に羽ばたき、ぶれない経営目標をもっている」(卸売・小売業・66歳・愛知) 「海外生産でコストダウンを図っただけでなく、ユニクロというブランドを浸透させて不況下で利益を出した。こういう努力が大きく反映されたことが賞賛に値する」(商社・35歳・大阪) 「この不景気で業績を下げるどころか上げ続けたことと、非正規雇用者の正規雇用推進を積極的に行ったことを評価したい」(卸売・小売業・35歳・広島)			
2位(一)	豊田 章男 氏	トヨタ自動車	42票	6.0%(圏外)
	「F1撤退など彼しか決断できないことをきちんとした」(電気通信業・41歳・東京) 「就任したばかりだが、既成にとらわれず“らしさ”を出している」(卸売・小売業・62歳・兵庫) 「国際企業として、グローバルな不景気を背に頑張って世界をリードしている」 (サービス業・60歳・埼玉) 「プリウスに見られるように、省エネに関して、先見性を持って対応していることが、結果としてビジネスの拡大につながっている」(建設業・54歳・栃木)			
3位(28位)	原田 泳幸 氏	日本マクドナルドホールディングス	32票	4.6%(0.2%)
	「0円コーヒー等の斬新な集客を狙った企画で利益を上げている」(建設業・52歳・東京) 「年間を通して話題が耳に入った。戦略はもちろん、独り勝ちの印象」(サービス業・31歳・茨城) 「新しいサービスで顧客の心をつかんだ」(製造業・38歳・東京) 「自身の顧客基盤の特性を踏まえた打ち手の実行がすばらしい」(サービス業・54歳・東京)			
同3位(2位)	孫 正義 氏	ソフトバンク	32票	4.6%(6.4%)
	「市場を完全に破壊し、携帯電話事業を次の次元へ導いた。」(卸売・小売業・35歳・東京) 「CMで消費者にどんどんアピールしている」(サービス業・40歳・大阪) 「商品戦略を不況の中でもよく考えている」(運輸・輸送業・37歳・三重) 「時代を先取りしている」(医療業・62歳・三重)			
5位(3位)	大坪 文雄 氏	パナソニック	14票	2.0%(5.2%)
6位(9位)	渡邊 美樹 氏	ワタミ	12票	1.7%(1.9%)
7位(一)	大東 隆行 氏	王将フードサービス	10票	1.4%(圏外)
8位(一)	伊東 孝紳 氏	本田技研工業	9票	1.3%(圏外)
同8位(一)	鈴木 修 氏	スズキ	9票	1.3%(圏外)
10位(12位)	カルロス・ゴーン 氏	日産自動車	6票	0.9%(1.0%)

※ユニクロとしての回答を含む

社長に聞いた 来年注目の会社

来年（2010年）の注目の会社を、自由記述で1社のみ回答してもらいました。この質問は今回初めて聞きました。

もっとも回答が多かったのは「トヨタ自動車」（19.5%）でした。今後の日本経済を占う意味でも、不況下における動向に注目しているのではないかと推察されます。

トヨタ自動車に続く2位は「日本航空」（13.9%）。再建の途上にあつて注目を集めていることが背景にあるかもしれませんが、むしろ交通インフラに大きくかかわる問題であり、自社の事業活動への影響を懸念しているのかもしれませんが。3位には、「今年の社長」でトップだった柳井正氏が会長兼社長を務める「ファーストリテイリング」が9.6%で入っています。

なお、「注目の会社」として名前が挙がったのは141社でした。

トップ10

※商号は省略			
順位	企業名	票数	割合
1位	トヨタ自動車	136	19.5%
2位	日本航空	97	13.9%
3位	ファーストリテイリング ※	67	9.6%
4位	パナソニック	19	2.7%
同	日本マクドナルドホールディングス	19	2.7%
6位	日産自動車	16	2.3%
同	ソニー	16	2.3%
8位	楽天	14	2.0%
9位	本田技研工業	12	1.7%
同	ソフトバンク	12	1.7%
同	シャープ	12	1.7%

※ユニクロの回答含む

社長が選ぶ 今年のビジネスキーワード

本学選定の52個の候補から、1位、2位、3位を選択してもらいました。1位を1票につき3ポイント、2位を同様に2ポイント、3位に1ポイント付与し、合計ポイントで順位付けしています。結果は、「政権交代」の圧勝でしたが、選定理由では、自身の経営環境へのプラスを見込むものと、受注減少などマイナスを懸念するものの両方が見られます。経済を含めた歴史的变化として、このキーワードを1位に挙げた人が多いようです。

2位以降でも「エコカー」「1000円高速」「エコポイント」と政策に関するものが比較的多く票を集めており、経営者として景気刺激策に敏感だった様子をうかがうことができます。

トップ10と上位の主な理由

順位	ビジネスキーワード	ポイント※
1位	政権交代 「国内の閉塞感・経済状況・国際社会における日本の地位の変化など、すべてが『政権交代』に連なるものだから」(サービス業・39歳・東京) 「中小企業に影響が出る」(サービス業・27歳・大阪) 「景気対策が不透明なので仕事の受注が減った」(建設業・40歳・千葉) 「旧態依然の日本経済は今後緩やかにでも経済や景気の回復、その他の景気拡大に繋がることを期待できる」(サービス業・43歳・東京) 「良いか悪いかは現在のところ不明だが、エポックメイキングであることには違いない」 (卸売・小売業・53歳・和歌山)	1051Pt
2位	エコカー 「景気の冷え込みとは逆行して販売台数を伸ばしていた。今後主流になることは間違いない」 (サービス業・31歳・茨城) 「需要もあったし今年一番の話題性があった」(運送・輸送業・41歳・福島) 「日本経済を象徴しているから」(製造業・56歳・岡山) 「エコカー減税等の効果で今年一気にメジャーに躍り出た感がある」(製造業・46歳・愛知)	575Pt
3位	1000円高速 「以前はおおよそ実現できそうになかったことだから」(卸売・小売業・41歳・山梨) 「これにより恩恵を受けた会社や地域、廃業寸前まで追いやられている会社等、明暗を分けた」 (製造業・45歳・埼玉) 「道路渋滞などで迷惑した」(運送・輸送業・44歳・大阪) 「旅館業ということもあり、実際にお客様が1,000円高速で遠方から訪れ、印象深い」 (サービス業・35歳・大分)	337Pt
4位	エコポイント	320Pt
5位	新型インフルエンザ(抗菌グッズ等)	259Pt
6位	雇用不安	211Pt
7位	円高(ドル崩壊)	155Pt
8位	GM破綻	120Pt
9位	公共事業見直し	103Pt
10位	定額給付金	75Pt

※ポイントは、1位を3pt、2位を2pt、3位を1ptとして合算

調査概要

調査対象：従業員数10人以上の企業経営者

調査方法：インターネット調査

調査実施日：11月20日～12月1日

回答数：697人

回答者属性：

・性別

男性	650人(93.3%)
女性	47人(6.7%)

・年齢

20代	8人(1.1%)
30代	126人(18.1%)
40代	276人(39.6%)
50代	200人(28.7%)
60歳以上	87人(12.5%)

・本社所在地

北海道	41人(5.9%)
東北	38人(5.5%)
関東	251人(36.0%)
中部	102人(14.6%)
近畿	149人(21.4%)
中国	48人(6.9%)
四国	17人(2.4%)
九州	51人(7.3%)

・資本金規模

1000万円未満	234人(33.6%)
1000万円以上3000万円未満	286人(41.0%)
3000万円以上1億円未満	124人(17.8%)
1億円以上10億円未満	45人(6.5%)
10億円以上	8人(1.1%)

・業種

農業・林業・漁業・鉱業	7人(1.0%)
建設業	89人(12.8%)
製造業	95人(13.6%)
鉄鋼業	7人(1.0%)
出版・印刷関連産業	5人(0.7%)
電気・ガス・熱供給・水道業	8人(1.1%)
運送・輸送業	32人(4.6%)
旅行業	1人(0.1%)
電気通信業	3人(0.4%)
卸売・小売業	131人(18.9%)
飲食店	30人(4.3%)
金融業	5人(0.7%)
保険業	5人(0.7%)
不動産業	16人(2.3%)
サービス業	129人(18.5%)
ソフトウェア・情報サービス業	50人(7.2%)
医療業	20人(2.9%)
協同組合・教育関連	23人(3.3%)
その他	41人(5.9%)

・従業員規模

10人以上30人未満	454人(65.1%)
30人以上50人未満	108人(15.5%)
50人以上100人未満	72人(10.3%)
100人以上300人未満	43人(6.2%)
300人以上500人未満	9人(1.3%)
500人以上1000人未満	6人(0.9%)
1000人以上3000人未満	1人(0.1%)
3000人以上	4人(0.6%)

★学校法人 産業能率大学

理事長 上野俊一／1950年(昭和25年)設立

都内(自由が丘キャンパス・代官山キャンパス)と神奈川県(湘南キャンパス)にキャンパスがあり、大学院・大学・短大を設置しているほか、総合研究所において企業・行政体等の経営指導や人材育成支援を行っています。

【ご参考（昨年の調査結果）】

■ 昨年（2008年）の「社長が選ぶ 今年の社長」のトップ10

※商号は省略

順位	氏名	企業名	回答割合
1位	柳井 正 氏	ファーストリテイリング	16.3%
2位	孫 正義 氏	ソフトバンク	6.4%
3位	大坪 文雄 氏	パナソニック	5.2%
4位	福井 威夫 氏	本田技研工業	3.5%
5位	西松 遙 氏	日本航空	3.3%
6位	渡辺 捷昭 氏	トヨタ自動車	2.7%
7位	御手洗 富士夫 氏	キヤノン	2.3%
8位	永守 重信 氏	日本電産	2.1%
9位	渡邊 美樹 氏	ワタミ	1.9%
10位	三木谷 浩史 氏	楽天	1.4%

■ 昨年（2008年）の「社長が選ぶ 今年のビジネスキーワード」

順位	ビジネスキーワード	ポイント
1位	サブプライム	566Pt
2位	原油価格高騰／下落	343Pt
3位	リーマンショック	340Pt
4位	世界同時不況	251Pt
5位	食品偽装	168Pt
6位	金融危機	165Pt
7位	景気後退	120Pt
8位	メタボ	103Pt
9位	ワーキングプア	95Pt
10位	燃油サーチャージ	88Pt

※ポイント数が今年より大幅に少ないのは、回答数の違い（昨年は515）